

さまざまな分野で“がんばる”長崎市民をご紹介します!!

ながさきメーカー

長崎maker

今月のmaker

長崎 Life of Animal
木村 愛子さん

新しい飼い主につないだ数は150件以上。行き場のない犬たちを引き受け、一生涯幸せに暮らしていけるよう、きちんとお世話をしてくれる家庭への譲渡などを行っています。愛護活動に興味があるかたは一緒に活動してみませんか?



「大きくなって飼えない」、「吠える」、「言うことを聞かない」などの理由で捨てられる犬や、迷い犬がいること、その犬たちが動物管理センターへ収容されてしまうことをご存じですか。

そんな犬たちを1頭でも減らし、多くの犬が幸せに暮らせるよう、飼い主を探したり、飼育相談などを受けているのが「長崎 Life of Animal」代表の木村さんです。

活動を始めたのは平成21年。「あまり知られていない犬たちの悲しい現状を知ってほしい」との思いから、商業施設やコンビニなどで収容犬情報のチラシ掲示を始めました。

現在、掲載場所は100箇所近くまで増え、6年前と比べると早い段階で飼い主が見つかるようになりました。

また、毎月第4日曜日に行われる「譲渡会」では、新しい飼い主と犬をつなぐ活動もされています。「まずは犬たちと直接ふれ合ってほしい」と話す木村さん。どんな犬がいいか、希望を聞きながら家庭環境・家族構成にあった犬を数頭ご紹介。その中から1頭を選んでもらい、2週間ほど一緒に過ごして相性があえば正式譲渡をしているそうです。

「譲渡後も悩みがあればどんどん相談してほしい」と木村さん。

犬の幸せを強く願っているからこそ、譲渡前も後も丁寧なケアができるんですね!犬を飼いたかたがいたら、まずは譲渡会に行ってみてくださいね。



譲渡会の様子

活動内容は「長崎 Life of Animal」のホームページやブログをご覧ください! また9/23(祝)には動物愛護フェスタもありますよ! (詳細はP33をご覧ください)

働き盛りの長崎人をクローズアップ!!

はなめ びと 輝く働き人

株式会社 吉本ハイテック
森 英輝 さん

会社の工作課立ち上げ時に、初期メンバーとして入社し、今では係長として手腕を発揮!主に船舶機械や発電所の部品などを作っている森さんは今年で入社6年目の会社期待の星です。



Q1.どんなお仕事をされているのですか?

工作物を回転させ旋削加工する機械を使って、エンジンの内部加工や火力発電所で使用される蒸気タービンの部品などを作っています。

100分の1mmの誤差の範囲内で加工をするときがあり、精度が必要とされる仕事です。

思ったとおりに加工ができなかったときでも、原因を追求し、改善できたときは、ものすごくやりがいを感じます。



大型の縦型旋盤を使って、機械加工を行っています

Q2.会社の雰囲気はどんな感じですか?

工作課の平均年齢が20代後半と若く、まだまだ伸びしろがある職場だと思っています。性格も温厚な人が多く、みんな真面目に仕事に取り組んでいます。

問題が発生したときや新しい作業をするときは、必ずミーティングを開いています。みんなで話し合い、アイデアを膨らませ、最適なやり方を見つけることで納期短縮やコストダウンにつながり、お客様や会社の利益にも貢献できていると思っています。



「雰囲気良く仕事ができているよ」とみなさんおっしゃいます

Q3.上司のかたは森さんを一番頼りにし、将来にも期待されているようです。今後の目標は何ですか?

工作課全員の個々の能力のアップです。そのためには、係長として、現場がスムーズにまわるように気を配る必要があると思います。

ものづくりの現場は本当に奥が深いので、新しい技術を身につけ、みんなでもっと成長していきたいですね。



ときには、先輩社員にアドバイスをすることも